

## ブレイキ・ダウン (1997)

BREAKDOWN

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1998/01/24

公開情報 東宝東和

## 【キャッチコピー】

始まりは何でもない車のトラブルだった…

あなたの後ろを走っているドライバーが 常人とは限らない。

全米を横断するハイウェイ「ルート15」でー 最愛の妻が〈ら致〉された！ 誰も信じてはくれない、誰も助けてはくれない……。

## 【解説】

旅の途中、見知らぬ砂漠の土地で失踪した妻を追う男の姿を描いたサスペンス・スリラー。

東海岸からカリフォルニアへ車で大陸を横断していたジェフとエイミーの夫婦。砂漠の真ん中で車が突然故障して立ち往生していた二人は親切なトラック運転手に会う。新車を置き去りにする事に抵抗を感じたジェフは、トラック運転手が立ち寄るといふダイナーまでエイミーを送ってもらい、そこから修理屋を呼ぶ事にした。しばらく経つと、車の故障が単に配線が抜けていただけの事と判明。エイミーが待つダイナーへと車を走らせるジェフ。だがそこに妻の姿はない。店の主人に聞いても、誰も見ていないという。やがてエイミーを乗せたトラックを発見したジェフは運転手に詰め寄るが、驚いた事にその運転手はジェフの事もエイミーの事も知らないと言うのだ。たまたま通りかかった警官に事情を説明するが、まともに取り合ってはくれない。何が起きているのか判らないままダイナーへと戻ったジェフは、そこで一人の若者から妻が男たちに連れ去られたと聞かされる。わずかな情報を頼りに、男たちが行ったであろう河沿いの道を急ぐジェフ。だがそこに現れた男はジェフにいきなり発砲してきた。そして車ごと河にダイブしてなんとか逃げようとしたジェフの前に現れたのはあのトラック運転手だった……。

伴侶の突然の失踪と、知ってるはずなのに知らないと言い張る関係者たち。一部のマニアならリチャード・マシスン原作・脚本によるTVムービー「恐怖のレストラン」を思い起こすだろうが、この作品は明らかにその影響下にありつつも良質のサスペンスを次々と生み出した快作となっている。原案・共同脚本、そして監督はこれがメジャー・デビューとなるJ・モストウだが、すでに「ウォー・バーズ2／天空を駆ける無敵のF-16（ファルコン）」という傑作サスペンスをモノにしている御仁だけに、その演出力は確かだ。実際、ストーリーだけ見るといかにもTV的と言っていい作品だが、これに堅実なキャストと強烈な見せ場を加味すれば劇場作品として立派に通用するという好見本だ。陰謀の加害者側の人物背景が希薄なのが、多少の難点か。

## 【クレジット】

監督	ジョナサン・モストウ	Jonathan Mostow
製作	ディノ・デ・ラウレンティス	Dino De Laurentiis
	マーサ・デ・ラウレンティス	Martha De Laurentiis
製作総指揮	ハリー・コロンビー	Harry Colomby
	ジョナサン・フェルナンデス	Jonathan Fernandez
原案	ジョナサン・モストウ	Jonathan Mostow
脚本	ジョナサン・モストウ	Jonathan Mostow

	サム・モンゴメリー	Sam Montgomery	
撮影	ダグ・ミルサム	Doug Milsome	
プロダクションデザイン	ヴィクトリア・ポール	Victoria Paul	
美術	リー・メイマン	Lee Mayman	
編集	デレク・ブレシン	Derek Brechin	
	ケヴィン・スティット	Kevin Stitt	
音楽	ベイジル・ポールドウリス	Basil Poledouris	
出演	カート・ラッセル	Kurt Russell	ジェフリー・テイラー
	J・T・ウォルシュ	J.T. Walsh	ウォーレン・バー
	キャスリーン・クインラン	Kathleen Quinlan	エイミー・テイラー
	M・C・ゲイニー	M.C. Gainey	アール
	ジャック・ノーズワージー	Jack Noseworthy	ビリー
	レックス・リン	Rex Linn	ボイド保安官
	リッチ・ブリンクリー	Ritch Brinkley	アル
	モイラ・ハリス	Moira Harris	アーリーン・バー
	キム・ロビラード	Kim Robillard	レン・カーバー
	トーマス・コパッチ	Thomas Kopache	カルフーン
	ジャック・マクギー	Jack McGee	
	ヴィンセント・ベリー	Vincent Berry	